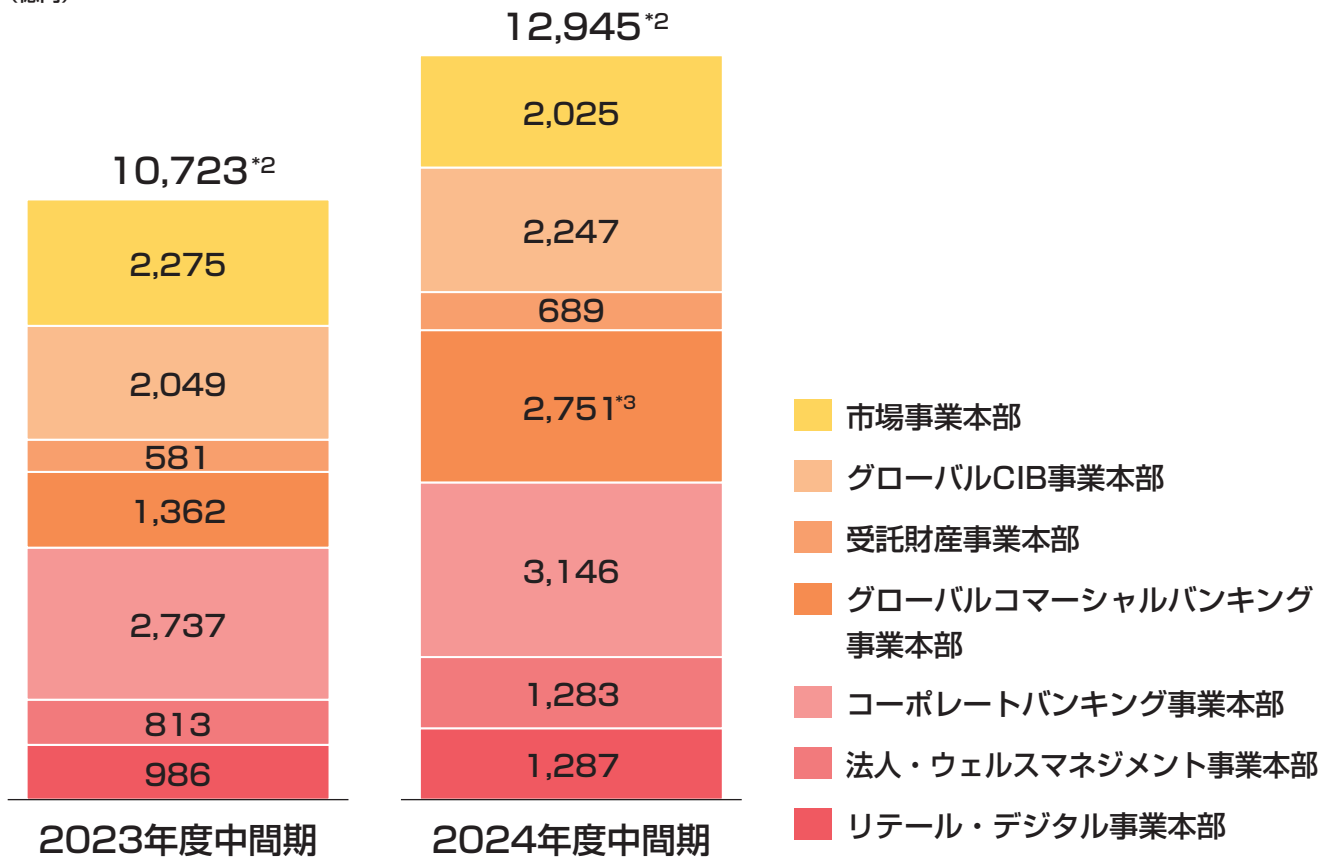


事業本部別営業純益*1

(億円)



注記 *1 管理計数。決算レートで算出 *2 本部・その他の計数を含む *3 KS決算期変更影響(2024年度より連結時に計上するKSの決算期間を従来の1-12月から4-3月へ変更したことによる影響)を含む

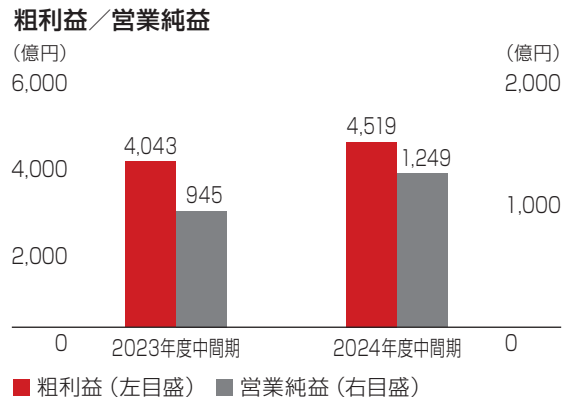
リテール・デジタル事業本部

個人のお客さま（ウェルスマネジメントを除く）を所管し、リアル・リモート・デジタルの各チャネルのベストミックスを通じて接点を広げ、ライフステージ等に合わせたお客さまの生涯に寄り添ったサービスを提供しています。

2024年度中間期の業績*1

円金利の上昇により資金収益が増加したことや、資金需要の増加により消費者金融領域の収益が改善したこと等により、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース



法人・ウェルスマネジメント事業本部

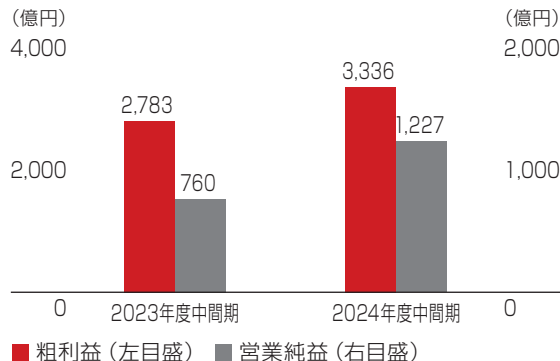
国内の事業法人とウェルスマネジメントのお客さまの多様なニーズに対し、貸出や資金決済、M&Aや相続、不動産、資産運用など幅広い金融サービスや事業・資産承継といったソリューションなどを提供し、グループ一体でお応えしています。

2024年度中間期の業績^{*1}

円金利の上昇による資金収益、株式市況の好調や事業・資産承継ニーズを捉えた資産運用収益等、各領域で収益が増加したことにより、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



コーポレートバンキング事業本部

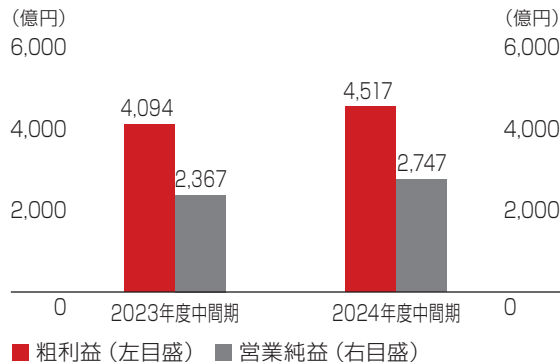
日系大企業のお客さまを対象に、貸出や資金決済、外国為替などのサービスや、M&Aや不動産関連ビジネスなどグループ各社の専門性を活かした総合的なソリューション提供を通じて、お客さまの企業価値向上に貢献しています。

2024年度中間期の業績^{*1}

円金利上昇等の金利環境変化を捉えた活動と貸出利ざやの改善により預貸金収益が伸長した他、大口案件の獲得等によりソリューション収益も拡大し、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



グローバルコマースシャルバンキング事業本部

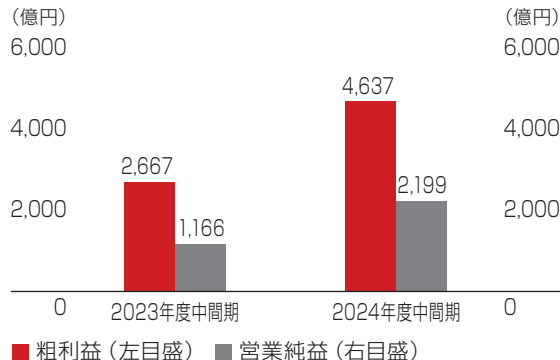
パートナーバンク(クルンシィ(アユタヤ銀行)、ダナモン銀行、ヴィエティンバンク、セキュリティバンク)を通じて、アジア進出企業や地場企業、個人のお客さま向けに金融サービスを提供しています。

2024年度中間期の業績^{*1}

クルンシィの決算期変更影響もありましたが、2023年度期中に買収した連結子会社の寄与や、クルンシィ、ダナモン銀行での貸出の積み上げ等により、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



受託財産事業本部

資産運用（AM^{*1}）、資産管理（IS^{*2}）、年金の各事業において、高度かつ専門的なノウハウを活用したコンサルティングや、運用力と商品開発力の向上に取り組み、国内外のお客さまの多様なニーズにお応えしています。

*1 Asset Management

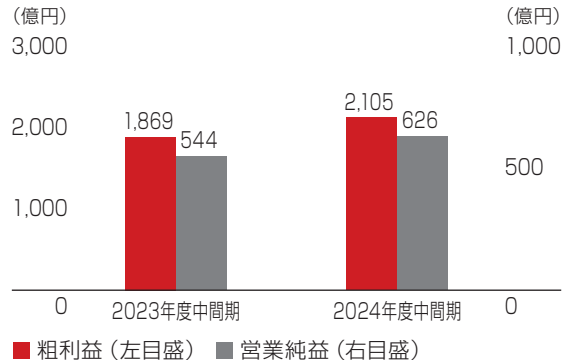
*2 Investor Services

2024年度中間期の業績^{*3}

AMでは国内投資信託への資金純流入や堅調な市況を背景に預かり残高が増加しました。またISでは、国内外での高付加価値サービスの複合提供の伸長等により、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*3 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



グローバルCIB事業本部

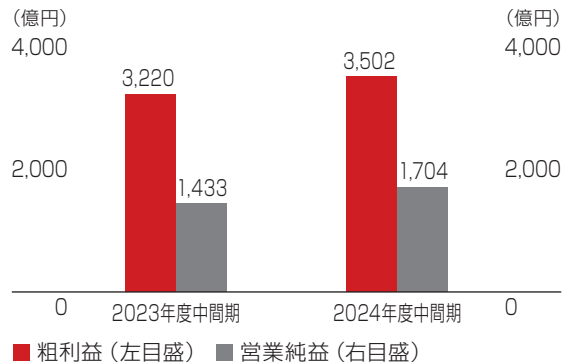
グローバル大企業のお客さまを対象に、商業銀行機能と証券機能を中核にグループ一体で付加価値の高いソリューションを提供するコーポレート&インベストメント・バンキング（CIB）ビジネスを展開しています。

2024年度中間期の業績^{*1}

ポートフォリオのリバランスを通じた利ざや改善による預貸金収益の増加や、マーケットの旺盛な需要を背景にプロジェクトファイナンスを含むストラクチャードファイナンス等を中心とした手数料収益が伸長しました。また、規律ある経費管理の徹底により、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



市場事業本部

金利（債券）・為替・株式のセールス&トレーディング業務^{*1}を中心とする顧客向けビジネスと、MUFGの資産・負債や各種リスクを総合的に運営管理するトレジャリー業務^{*2}を主に担っています。

*1 為替・デリバティブなどの金融商品・ソリューションをお客さまに提供するセールス業務と、銀行間取引や取引所などで市場性商品の売買を行うトレーディング業務の総称

*2 貸出などの資産と預金などの負債に内在する資金流動性リスクや金利リスクなどを総合的に管理するALM運営やグローバル投資など

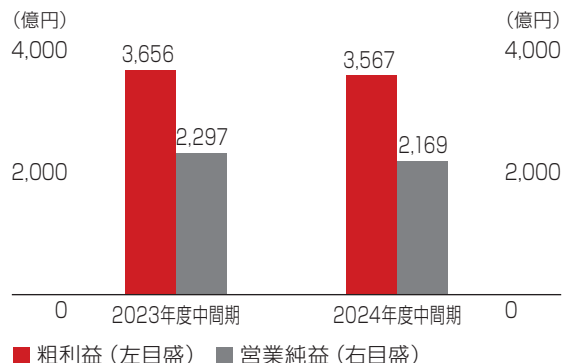
2024年度中間期の業績^{*3}

セールス&トレーディング業務では、フィクストインカム業務^{*4}が伸び悩みましたが、外為業務においてポラティリティ拡大を捉え着実に収益を計上しました。またトレジャリー業務では、相場変動を受けた機動的な操作によって売買益を積み上げて、外貨調達コストの上昇等による資金収支の減少の打ち返しの努力、粗利益、営業純益ともに前年同期比で若干の減少にとどめました。

*3 管理計数。現地通貨ベース

*4 債券などの固定収益証券の取引や管理を行う業務

粗利益／営業純益



中小企業のお客さまの成長・地域活性化への貢献

MUFGは、中小企業のお客さまの経営課題の解決に資するサービスの提供や地域活性化に向けた支援を通じて、日本経済の発展に金融面から貢献していきます。

中小企業のお客さまの成長への貢献

MUFGは、企業のビジネスステージ（成長段階）に応じて、さまざまなサービスを行っています。

創業期

■ ビジネスをスタートする経営者の皆さまをサポート

スムーズな事業開始をサポートするため、設立登記申請中の段階より口座開設のお申込みができるようサービスを拡充しました。外部事業者の設立登記サービスからオンラインで口座開設ページにアクセスでき、便利に口座開設が可能です。また、「創業支援パッケージ」と称して事業開始直後に必要な決済商品に加え、創業期のお客さま向けの特典をご用意しています。

お客さまの創業以降の事業拡大に向けたサポートとして、2024年5月には、決済・資金管理・株主管理・ビジネスマッチングなど、MUFG各社のスタートアップ向けサービスを網羅的に掲載した「MUFGスタートアップキット」をリリースしました。

Rise Up Festaは、MUFGのネットワークや経営支援などのノウハウを最大限活かし、スタートアップを中長期的にサポートしていくプログラムです。2024年度は11回目の開催となり、過去最多のエントリー数の中から最優秀企業・優秀企業を選定し、プログラム終了後も継続的に支援しています。



MUFGスタートアップキット

成長期

■ お客さまのパートナーとして企業の成長を支える対面・非対面サービス

事業成長に伴う運転資金・設備資金等の資金支援やグループ体となったIPO支援や事業への助言等の対面サービスと、デジタル等を駆使したスピーディーな資金支援や経営課題解決に資するソリューション提供等の非対面サービスの両面から、企業成長を支援しています。幅広いサービスと、積み上げられた信頼・信用から、最も多くのお客さまにメインバンクとして選ばれています^{*1}。

Biz LENDINGは、中小企業のお客さまの資金ニーズに早期にお応えするオンライン完結の融資サービスです。従来の決算書による審査ではなく、入出金データ等をAIが審査し、お申込から最短2営業日で、無担保・無保証でのお借入が可能です。2024年度以降は、外部パートナーとの連携なども開始しており、更なるサービス高度化を図ることでお客さまに新たな付加価値を提供しています。

また2024年10月より、AI技術に強みを持つスタートアップである株式会社LayerXと三菱UFJ銀行が業務提携し、同社の経理効率化サービス「バクラク for MUFG」を三菱UFJ銀行の法人のお客さま向けに媒介形式で提供開始しました。本サービスにより、請求書処理や経費精算など、お客さまのバックオフィス業務の効率化を支援します。

*1 東京商工リサーチ 2024年「企業のメインバンク」調査

成熟期

■ 円滑な事業承継に向けたサポート

多くの中堅中小企業オーナーが抱える資産・事業承継の課題に対し、社内体制の強化や提携先の拡充を進めながら、親族内承継やM&A、相続、不動産、資産運用等に関するご提案をグループ体で行っています。

■ 資金繰り支援

三菱UFJ銀行では、お客さまへの円滑な資金供給を最も重要な社会的役割の一つと位置付けており、経済環境変化に伴う影響を踏まえたお客さまの資金繰りに対して、丁寧・迅速・柔軟な支援に取り組んでいます。

事業再生

環境変化への対応が求められる中、専門部署のノウハウを活用し、お客さまに寄り添いながら、さまざまなサポートを行っています。DIPファイナンス^{*2}やMUFGストラテジック・インベストメント^{*3}による資本金性支援等の踏み込んだサポートに取り組んでいます。

*2 再生債務者に対して融資を実行すること *3 投資専門子会社

MUFGは、地域経済の活性化や地域産業の育成につながる事業を支援しています。

MUIC Kansai

MUFGでは、観光産業の課題解決および関西経済活性化をめざす取り組みとして、2021年2月に会員制イノベーション創出拠点「MUIC Kansai」を大阪に開設しました。



■ 関西広域デジタルマップ (DIG THE LOCAL IN KANSAI)

MUIC Kansaiでは、大阪・関西万博を契機とした関西経済を盛り上げる取り組みを行っています。2024年11月から12月には、関西エリアの広域観光情報を集約した「関西広域デジタルマップ (DIG THE LOCAL IN KANSAI)」を活用したスタンプラリーキャンペーンを開催しました。地域の魅力が詰まったイラストデジタルマップとスタンプラリーを組み合わせることで、旅行者にメジャーな観光地だけではなく関西全域の多様な魅力を体験してもらいました。今後この取り組みを通じて、大阪・関西万博の開催期間中における来場者や旅行者に対し、関西広域デジタルマップによる関西観光の魅力を訴求し、インセンティブも提供しながら関西2府8県の広域周遊促進に取り組んでいく予定です。

■ Tech Tours Kansai

また、万博の開催前後では、万博をきっかけに来日する海外企業による産業観光^{*1}の実施が見込まれています。現在日本には、海外企業のニーズに合わせた、付加価値の高い産業観光を提供できる事業者がないことから、大阪観局、旅行会社、MUFGが連携し、海外企業が視察したい産業や文化体験、観光地などを組み合わせたオーダーメイド型で提供するプラットフォーム「Tech Tours Kansai」を立ち上げました。海外企業が来日した際に何が見たいのかというニーズを把握しながら、自治体・地域企業振興団体と連携し、他では提供できない視察コースを造成することで、ビジネスマッチングや将来の投資、進出のきっかけ作りをサポートしています。サービスを開始して約1年でアジア圏を中心に80件超の問い合わせを頂いております。

*1 その地域特有の工場・職人・製品などの産業、ならびに昔の工場跡や産業発症の地などの産業遺産を観光資源とする旅行



関西広域デジタルマップを活用した広域周遊促進

Tech Tours Kansai



ビジネス
ストラベルを
より
価値あるものに

産業ツアーの高付加価値化をサポートします！
万博観覧に来日されるお客様を対象とした
日本初の産業観光ツアーサポートサービスを
活用しませんか

新たな産業観光プラットフォーム
～Tech Tours Kansai～